

「学研都市新時代プラン」(中間案)に対する府民の皆様からの意見募集結果

平成19年12月21日
京都府企画環境部
文化学術研究都市推進室
(電話075-414-5195)

「学研都市新時代プラン」(中間案)について、府民の皆様から御意見を募集いたしましたところ、貴重な御意見をいただきありがとうございました。

お寄せいただいた御意見及びこれに対する府の考え方を下記のとおり公表いたします。

また、提出された府民の皆様の意見を十分に考慮し、「学研都市新時代プラン」をとりまとめましたので、あわせて公表します。

記

- 1 意見募集期間
平成19年10月16日(火)～平成19年11月15日(木)
- 2 意見提出者数 2名
- 3 意見の要旨とこれに対する府の考え方
別紙のとおり
- 4 学研都市新時代プラン
別添のとおり

(別紙)

「学研都市新時代プラン」に係るパブリックコメントの要旨及びこれに対する府の考え方

意見の要旨	府の考え方
<p>「けいはんな」による講演会や映画会には積極的に住民として参加しており、生涯学習時代にあってたいへん重宝している。かつての理想(奥田先生の提唱された)に付加価値をつけるような施策が必要かと思う。</p>	<p>重点施策として住民や研究者の参加による都市活動の展開等による知の創造都市の形成を目指すこととしており、その具体化の中で検討していきたい。</p>
<p>学研都市の首都圏、外国でのプロモーションが重要であることはその通り。 プロモーションを積極的に展開するためには学研都市の顔(「地域ブランド」)を明確に示す必要があり、その「地域ブランド」を確立するため、幅広いネットワークやノウハウを有する広告代理店や総合商社と提携することも必要。</p>	<p>広報重点施策での取り組みを通じて「けいはんな学研都市」という地域ブランドの確立を図ることとしており、また、広告代理店等との提携については、その具体化に当たって検討することとしたい。</p>
<p>施策間の優先順位を明確に示し、より鋭角的なプランとすることはできないものか。(組織やハード整備が前面に出され、ソフト面の充実があまり見えてこない。)</p>	<p>ハード・ソフト両面で各施策を総合的に取り組むことが必要と考えており、緊急度や優先度に留意しながらプランの推進に努めてまいりたい。</p>